

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2355回

平成19年3月20日(火) 曇り(本年度 第34回)

会長報告

丸山隆志

先週・先々週の行事について

- 3/15 (木)：全国藩校サミット in 鶴岡実行委員会
- 3/16 (金)：出羽庄内国際交流財団理事会
- 3/17 (土)：次期会長幹事研修会 (PETS) 米沢市
- 3/22 (木)：世界こども音楽フェスティバル鶴岡
実行委員会専門部会
- 3/24 (土)：天童RC 50周年記念式典
- 3/26 (月)：青少年交換留学生ノラ・トーマスさん
のご両親歓迎会

* * *

16日に、出羽庄内国際交流財団理事会・評議員会に出席致しました。鶴岡RCは、評議員になっていることを改めてご報告致します。平成19年度の事業計画等が承認されました。

鶴岡市における外国人登録者数は、平成18年12/31現在886名(中国人68.3%、韓国・北朝鮮11.1%、フィリピン5.2%、ベトナム2.4%、ブラジル2.3%など)、庄内地域では、1,684名(中国人が57.5%、韓国・北朝鮮17.9%、ベトナム9.1%、フィリピン5.5%、ブラジル1.9%など)が地域住民と共に生活しております。国の数は、31カ国の在住でアメリカ17人、イギリス2人オーストラリア2人などです。また、配偶者は、136人で全体の15.3%にあたります。

出羽庄内国際村の利用数は、年間42,000人位を推移しているようです。アマゾン民族館の入館者数は、開館初年度の平成6年に36,926人でしたが、17、18年度は4,800～4,500人に激減し対策を考えているようです。3/10からインドネシア文化展を開催しておりますので是非入館して下さい。

「ロータリーの友」3月号に、第2800地区・地区大会記念講演：涌井 雅之氏(ランドスケープアーキテクト)の記事が掲載されておりました。

坂 粹(景観の概念についての考え方)

「環境は、五感でとらえると景観という言葉にな

ります。景というのは、物理的な見えがかりです。日本人は、それを目で見ていないのです。心でとらえているのです。それが観です。この景観が10年たつと、風景になります。風景が100年たつと風土になっていきます。それが私がいつも言っている『景観10年、風景100年、風土1000年』ということです。」…この記事は、21世紀のあり方を提言していると思います。皆さんも、もう一度読んで下さい。又、縦書きの⑩ページに御橋先生の地区の読み方の投稿が掲載されておりました。

17日の次期会長幹事研修会(PETS)で第2800地区の2005～2006年度ロータリー財団年次寄付・クラブ別個人平均寄付額第3位のバナーを頂いて参りました。2006～2007年度も同様の協力をお願い致します。

報 告

真島吉也

3/17に次期地区ガバナー候補の丸山隆志さん、次期幹事の本間昭吉さんと共に米沢での次期会長幹事研修セミナー(PETS)に参加して参りました。次期国際ロータリー会長のウィルキンソンさんは来年度のRIテーマを“ロータリーは分かちあいのところ”としております。2800地区の次期ガバナーの大友恒則さんは来年度の地区目標に「簡素な組織で豊かな奉仕」と掲げました。これにはCPLを導入しそれぞれのクラブが組織のスリム化を図り身の丈にあったクラブ運営とロータリー活動を行おうとする動きと関連があるようですが、我々の活動の方向を示した目標であると思いました。

県政の概要

会員スピーチ

阿部信矢

ご無沙汰をしておりましたが、こういう機会を与えて頂きありがとうございます。最近の県政の概要を説明させていただきます。

斎藤知事が就任して2年1ヶ月が過ぎました。この間改革断行ということで、財政



改革を中心に取り組んでいます。平成 17 年度予算は、初めて今の知事が組んだのですが、5,836 億と 6,000 億を切った平成 3 年並みの予算になり、前年に比べ 3.2% の減になりました。知事は中期の財政展望ということで黒字にもっていくように、今 1 兆 1092 億ほど県の借金があるので、昨年度は向こう 10 年間の総合発展計画を子ども・夢・未来志向で計画しました。少しでも次世代への財政負担を軽減しようと言っております。農業予算も 1,100 億ほどあった時もありますが、最近は 300 億ちょっと。農業者からは批判もありますが、庄内は農業土木や土地改良事業などはもう進んでいる方で、全国でもモデル的な地域だと思いますので、農業土木についての予算は少なくなりました。その中で、知事は 3 年間で 200 億を捻出し景気雇用対策に向けようと、利用予定のない県有地の売買や職員の給料、議員の報酬カットなどに取り組んでいます。借金もあるので、少しずつ返そうという展望です。

それから出納長は、知事の当選当時は設置義務がありましたが、なかなか決まらなくて置きませんでした。1 年過ぎて、今年度地方自治法の改正があり、地方で必要がないなら置かなくてもよい、今回鶴岡市でも副市長制という形で、収入役もいらないし、いなければ副市長という形で置くこともできる。県の場合は副知事二人制ということで、女性の副知事をいれております。男女共同参画社会、観光の面も視野に入れての配置であります。

今、支出の中で知事は改革元年ということで、今年度は改革断行、来年度は改革を進化させようとしております。今年は聖域なき改革の断行で色々な面で補助金が廃止になったり、今年度 20%、来年度 20% と聖域なくカットするということですが、そういう中でも産業振興、人材育成、環境問題、くらしの安全、地域間交流というこの 5 つは重点枠として予算を傾斜配分しようとしています。日沿道高速道路が、平成 24 年度完通をめざして進められていますが、農家の農地や個人の所有財産がなくなるため、特別対策資金で農機具購入時に半額補助がありましたが、17 年度で廃止されました。身近な問題としては湯殿山の九合目と山頂に作ったバイオトイレですが、月山は国立公園だということで、今まであった補助金が全てカット。地元では大変苦情があり、苦慮しているようです。この聖域なき断行を今年度 260 億、来年度 120 億やらないと財政が安定しない、さらに次の年 90 億を改革すると 21 年度からは安定した財政運営ができるということで、来年度、再来年度は皆さんと共に我慢して健全な財政

運営ができるよう、県でも頑張っております。知事も「ないものねだりをするよりも、あるものさがしをしよう」と山形に山形らしさを出して、本格的に山形県の特産とか特技にしていこうと、「山形セレクション」などやっております。全国に、全世界にアピールしていこう、又次世代を担う若者が定着できる、そういう支援策を講じていこうとしています。山形県の人口が 120 万 7,500 人と減ってきております。基幹税である住民税は、人口が少なければ少ないほど収入が入ってこないわけで、そうすると事業税も地場産業を振興させないと入ってこない。ですから知事もこれからは内発型の企業を振興させて地場産業を育成しなければならないといっております。農業の方も、米が安くなり米での収入は 60 年代は 1,900 億ほどあったのが、今は 950 億くらいしかない。それに果樹が 430 億で 2,150 億になっています。これからは加工技術や米「プラス α 」に取り組んでいかないと大変な時代です。

「限界集落」という 65 才の老人が 50% いる集落が、山形県でも増えてきて深刻な事態です。また、県で今年から始めている「産廃税」、これは県外からの産廃を抑止するための条例で、ある程度の抑止力になっているようですが、不法投棄の監視体制も課題になります。さらに、来年度からは「山形緑環境税」が条例化されました。

知事が変わってから、急に財政的に窮屈になって、いろんな団体から苦情がありますが、県民からの相談や願いを職員が必ず出向いて話を聞き、県の事情を話して相談するなどして、県民との信頼関係をとっていく機会を設けたいとやっております。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会 員 数	46 人	出 席 率	69.77%
出 席 数	31 人	修正出席数	33 人
出 席 率	72.09%	確定出席率	81.40%

●メイクアップされた方

阿部 純次君 足立 篤司君 藤川 享胤君
秦 幸助君 樋渡美智子君 本間喜美子君
本間 昭吉君 加藤 功君 丸山 隆志君
松井 亨君 佐藤 孝子君 富樫 松夫君

●ビジター 桜井 清君（鶴岡西 RC）



石田 雄君 山崎誠助先生の名誉市民推戴式、感激しました。